

学会・研究発表等

- 1 A New supervised learning method of neural networks and its application to the land cover classification
Akito Ohkubo and Koichi Niijima*: IEEE 1999 International Geoscience and Remote Sensing Symposium:Hamburg, Germany,平成11年6月29日.
* Department of Informatics, Kyushu University
- 2 環境と水文のリモートセンシング解析例
大久保彰人:第25回九州衛生公害技術協議会,大分市,平成11年11月25日.
- 3 熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究 - PCQの濃度変化に関する研究 -
片岡恭一郎:平成10年度厚生科学研究生活安全総合研究成果報告会,東京都,平成12年2月15日.
- 4 Correlation of concentrations of PCDDs, PCDFs and non-ortho coplanar PCBs in human samples
T. Matsueda, T. Iida, H. Hirakawa and J. Nagayama: 19th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants, Venice, Italy,平成11年9月14日.
- 5 生体試料中のダイオキシン類濃度間の相関性
松枝隆彦, 飯田隆雄, 平川博仙, 長山淳哉(九大医療短大):第8回環境化学討論会,北九州市,平成11年7月8日.
- 6 Variation of non-ortho coplanar PCBs, polychlorinated dibenzo-p-dioxins and dibenzofurans in the atmosphere
Yoichi Kurokawa, Takahiko Matsueda, Matayoshi Nakamura and Kazumi Fukamachi:19th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants, Venice, Italy,平成11年9月14日.
- 7 乾性降下物中のダイオキシン類の同属体パターンについて
黒川陽一, 松枝隆彦, 中村又善, 深町和美:第8回環境化学討論会,北九州市,平成11年7月8日.
- 8 白色腐朽菌による難分解性物質の分解
高田 智:第41回酵素工学研究会,大阪市,平成11年4月23日.
- 9 九州地区における1996年6月より1年間の腸管出血性大腸菌 O157感染症の分子疫学的解析
堀川和美, 椿本 亮*¹, 加野成明*², 森屋一雄*³, 原田誠也*⁴, 本田れい子*⁵, 緒方喜久代*⁶, 河野喜美子*⁷, 上野伸広*⁸, 久高 潤*⁹, 森 良一:第52回日本細菌学会九州支部総会,福岡市,平成11年9月4日.
*1 福岡市東部動物管理センター
*2 北九州市立食肉センター
*3 佐賀県衛生研究所
*4 熊本県食肉衛生検査所
*5 熊本市保健福祉管理課
*6 大分県衛生環境研究センター
*7 宮崎県衛生環境研究所
*8 鹿児島県衛生研究所
*9 沖縄県衛生環境研究所
- 10 九州地区における1996年6月より1年間の腸管出血性大腸菌 O157感染症の分子疫学的解析
堀川和美, 椿本 亮*¹, 加野成明*², 森屋一雄*³, 宮崎憲明*⁴, 原田誠也*⁵, 本田れい子*⁶, 緒方喜久代*⁷, 河野喜美子*⁸, 上野伸広*⁹, 久高 潤*¹⁰, 森 良一:第25回九州衛生公害技術協議会,大分市,平成11年11月25日.
*1 福岡市東部動物管理センター
*2 北九州市立食肉センター
*3 佐賀県衛生研究所
*4 長崎県中央保健所
*5 熊本県食肉衛生検査所
*6 熊本市保健福祉管理課
*7 大分県衛生環境研究センター
*8 宮崎県衛生環境研究所
*9 鹿児島県衛生研究所
*10 沖縄県衛生環境研究所
- 11 ベロ毒素遺伝子が検出されない *Escherichia coli* O157の病原因子に関する検討
堀川和美, 村上光一, 高山優子*:平成11年度日本獣医師会九州三学会,那覇市,平成11年10月9日.
* 福岡県食肉衛生検査所
- 12 PCR によるカンピロバクター属の馬尿酸加水分解試験についての検討
安増邦理*, 永田朋子*, 堀川和美, 村上光一:平成11

年度日本獣医師会九州三学会，那覇市，平成11年10月9日。

* 福岡県食肉衛生検査所

13 Vero 毒素非産生・Vero 毒素産生性遺伝子非保有 *Escherichia coli* O157の病原因子に関する検討

堀川和美，村上光一，高山優子*：平成11年度日本獣医公衆衛生学会，静岡市，平成12年2月12日。

* 福岡県食肉衛生検査所

14 非喫煙肺がん患者，ディーゼル排ガス暴露マウス肺組織に蓄積する DNA 損傷反応の解析

世良暢之，嵯峨井勝*¹，中西洋一*²，原 信之*²，常盤 寛*³：第58回日本癌学会総会，広島市，平成11年9月30日。

*1 九州大学大学院医学研究科呼吸器病態制御学

*2 国立環境研究所地域環境研究グループ

*3 九州女子大学

15 発がん物質の生体内での突然変異誘発機構の解析
世良暢之：第6回アクア研究センター研究発表会，北九州市，平成11年8月5日。

16 マクロファージ由来培養細胞を用いた発がん物質の DNA 傷害の解析

世良暢之，嵯峨井勝*¹，中西洋一*²，原 信之*²，常盤 寛*³：日本環境変異原学会第28回大会，名古屋市，平成11年9月30日。

*1 九州大学大学院医学研究科呼吸器病態制御学

*2 国立環境研究所地域環境研究グループ

*3 九州女子大学

17 環境中発がん物質のヒトへの暴露実態と生体影響評価

世良暢之：水環境フロンティアフォーラム，福岡市，平成11年12月4日。

18 酸化的ストレスからみた突然変異誘発能試験

北森成治，世良暢之，田中義人，内海英雄*：未来環境創造型基礎研究推進制度第3回講演会「化学物質による生物・環境負荷とその評価・管理 - バイオアッセイを用いた化学物質管理への新たな挑戦 - 」，福岡市，平成12年3月9日。

* 九州大学大学院薬学研究科機能分子解析学分野

19 ヒトの血清中の 2-Macroprotein (HAKATA 抗原)

と特異的に反応するグラム陽性菌 *Aerococcus viridans* の多糖類について

宮崎 卓*，辻村充志*，石田忠三*，相良康子*，村上光一，白木 洋*，大河内一雄*，前田義章*：第47回日本輸血学会，仙台市，平成11年5月12日。

* 福岡県赤十字血液センター

20 パルスフィールドゲル電気泳動法による食鳥処理場由来サルモネラの疫学解析

前田宏昭*¹，高山優子*¹，横山敦史*²，村上光一，堀川和美：平成11年度日本獣医三学会九州地区学会，那覇市，平成11年10月8日。

*1 福岡県食肉衛生研究所

*2 福岡県中央家畜保健衛生所

21 *Salmonella* Enteritidis の養鶏関連施設での分布，および分離株と食中毒由来株との分子疫学的比較

村上光一，堀川和美，大槻公一*：第128回日本獣医学会学術集会，熊本市，平成11年10月13日。

* 鳥取大学

22 鶏由来のサルモネラの生態について

前田武史*，田中雅人*，坂江 博*，松本容二*，金田佳子*，永野哲司*，伊藤壽啓*，大槻公一*，村上光一：第128回日本獣医学会学術集会，熊本市，平成11年10月13日。

* 鳥取大学

23 福岡県における腸炎ピブリオの流行について

中山 宏，村上光一，世良暢之，堀川和美，高田 智：第46回福岡県公衆衛生学会，福岡市，平成11年5月20日。

24 福岡県における腸炎ピブリオの流行について

中山 宏，村上光一，世良暢之，堀川和美，高田 智：第58回日本公衆衛生学会総会，別府市，平成11年10月21日。

25 エコーウイルス30型の分子疫学

吉田 弘*¹，米山徹夫*¹，吉井久美子*¹，清水博之*¹，宮村達夫*¹，萩原昭夫*¹，太田耿三*²，村上 司*³，入谷展弘*³，土屋サト子*⁴，高尾信一*⁵，内田和江*⁶，山西重機*⁷，濱崎光宏，吉野修司*⁸，大瀬戸光明*⁹，阿部勝彦*¹⁰，濱野雅子*¹¹，栄 賢司*¹²，都築秀明*¹²，千屋誠造*¹³，尾西一*¹⁴，藤本嗣人*¹⁵，宗像徹也*¹⁶，川本歩*¹⁷，横田陽子*¹⁸，安藤秀三*¹⁹，関根大正*²⁰：第40回

日本臨床ウイルス学会，吹田市，平成11年5月13日．

- * 1 国立感染症研究所
- * 2 福岡市保健環境研究所
- * 3 大阪市立環境科学研究所
- * 4 福島県衛生公害研究所
- * 5 広島県保健環境センター
- * 6 埼玉県衛生研究所
- * 7 香川県衛生研究所
- * 8 宮崎県衛生環境研究所
- * 9 愛媛県立衛生環境研究所
- * 10 広島市衛生研究所
- * 11 岡山県環境保健センター
- * 12 愛知県衛生研究所
- * 13 高知県衛生研究所
- * 14 石川県保健環境センター
- * 15 兵庫県立衛生研究所
- * 16 横浜市衛生研究所
- * 17 鳥取県衛生研究所
- * 18 滋賀県衛生環境センター
- * 19 富山県衛生研究所
- * 20 東京都衛生研究所

26 1998年に福岡県において流行したエコーウイルス30型について

濱崎光宏，梶原淳睦，石橋哲也，千々和勝己，大津隆一：第46回福岡県公衆衛生学会，福岡市，平成11年5月20日．

27 眼科疾患におけるアデノウイルスの流行状況

梶原淳睦，濱崎光宏，森 良一，鬼木信乃夫*：第46回福岡県公衆衛生学会，福岡市，平成11年5月20日．

* 鬼木眼科医院

28 A型インフルエンザウイルスに対する塩酸アマンタジン使用の問題点

辻 克郎*，吉本静志*，梶原淳睦，石橋哲也，森良一，山田達夫*，豊田哲也*：第47回日本ウイルス学会学術集会，横浜市，平成11年11月7日．

* 久留米大学医学部

29 アデノウイルスの血清疫学 - 7型を中心に -

梶原淳睦：第69回日本感染症学会西日本地方総会シンポジウム，福岡市，平成11年11月25日．

30 福岡県において流行したエコーウイルス30型について

濱崎光宏，梶原淳睦，石橋哲也，千々和勝己：第63回九州山口薬学大会，宮崎市，平成11年10月30日．

31 福岡県における HIV-1 の分子疫学

千々和勝己，石橋哲也：第25回九州衛生公害技術協議会，大分市，平成11年11月25日．

32 Investigation of dietary exposure to PCDDs, PCDFs and dioxin-like PCBs in Kyushu district, Japan

Tsuguhide Hori, Takao Iida, Takahiko Matsueda, Matayoshi Nakamura, Hironori Hirakawa, Kyoichiro Kataoka and Masatake Toyoda* : Dioxin'99, Venice, Italy, 平成11年9月12 - 17日．

* National Institute of Health Sciences

33 Concentration of PCDDs, PCDFs, Co-PCBs and organochlorine pesticides in the blood and breast milk in Japanese women

Hironori Hirakawa, Takao Iida, Takahiko Matsueda, Reiko Nakagawa, Tsuguhide Hori and Junya Nagayama* : Dioxin'99, Venice, Italy, 平成11年9月12 - 17日．

* Laboratory of Environmental Health Sciences, School of Health Sciences, Kyushu University

34 農薬等による母乳の汚染状況について

中川礼子，平川博仙，飯田隆雄，松枝隆彦，長山淳哉*：日本食品衛生学会第78回学術講演会，長野市，平成11年10月28 - 29日．

* 九州大学医療技術短期大学部

35 血液中ダイオキシン類分析における脂肪抽出法の検討

中村又善，飯田隆雄，平川博仙，堀 就英，竹中重幸，中川礼子：第36回全国衛生化学技術協議会年会，福岡市，平成11年11月4 - 5日．

36 食事を介したダイオキシン類の1日摂取量調査

堀 就英，松枝隆彦，中村又善，平川博仙，片岡恭一郎，中川礼子，飯田隆雄：第25回九州衛生公害技術協議会，大分市，平成11年11月25 - 26日．

37 Acidification of aerosol and chemical forms in winter at two sites of northern Kyushu, Japan

T. Shimohara, O. Oishi, A. Utsunomiya, H. Mukai*, S. Hatakeyama* and K. Murano* : Proceedings of International Conference on Study on Dry

Deposition Mechanism, Seoul, 平成11年8月18 - 20日, 招待講演

* National Institute for Environmental Studies

38 ガス,エアロゾルの季節による大陸及び九州内陸からの移流影響 - 酸性物質の起源と酸性化要因 -

下原孝章, 大石興弘, 宇都宮彬, 向井人史*, 畠山史郎*, 村野健太郎*: 第40回大気環境学会, 津市, 平成11年9月18 - 20日.

* 国立環境研究所

39 Evaluation of dry deposition mechanism of gaseous and particulate matters using representative surfaces

T. Shimohara, O. Oishi, K. Murano *¹ and H. Ueda *²: Sixth Scientific Conference of the International Global Atmospheric Chemistry

Project (IGAC), Bologna, 平成11年9月13 - 16日.

* 1 National Institute for Environmental Studies

* 2 Kyoto University

40 Characterization of atmospheric air pollutants in winter observed at two sites of northern Kyushu in Japan - Acidification, chemical forms and chemical reactions -

T. Shimohara, O. Oishi, A. Utsunomiya, H. Mukai *¹, S. Hatakeyama *¹, I. Uno *² and K. Murano *¹: 5th International Joint Seminar on the Regional Deposition Processes in the Atmosphere, Seoul, 平成11年10月12 - 16日, 招待講演

* 1 National Institute for Environmental Studies

* 2 Kyoto University

41 中干しの影響による水田からの栄養塩・農薬の流出

永淵 修, 田中義人, 志水信弘, 海老瀬潜一*: 第34回日本水環境学会年会, 京都市, 平成12年3月17日.

* 摂南大学工学部

42 シュロガヤツリ植栽による水生昆虫の回復事例

中村融子, 緒方 健, 志水信弘, 徳永隆司: 第2回日本水環境学会シンポジウム, 京都市, 平成11年9月13 - 14日.

43 茶畑からのマンガン流出特性

中村融子, 松尾 宏, 馬場義輝, 徳永隆司, 北森成治: 第25回九州衛生公害技術協議会, 大分市, 平成11年11月25 - 26日.

44 茶畑におけるマンガンフラックスの推定

中村融子, 松尾 宏, 馬場義輝, 徳永隆司, 北森成治, 平田健正*¹, 西川雅高*²: 第34回日本水環境学会年会, 京都市, 平成12年3月16 - 18日.

* 1 和歌山大学

* 2 国立環境研究所

45 溜池の高濃度 N₂O の生成メカニズム

馬場義輝, 松尾 宏, 中村融子, 徳永隆司, 北森成治, 平田健正*¹, 西川雅高*²: 第34回日本水環境学会年会, 京都市, 平成12年3月16 - 18日.

* 1 和歌山大学

* 2 国立環境研究所

46 自治体の取り組み(2) - 茶畑での窒素収支からみた地下水への影響評価 -

松尾 宏, 中村融子, 馬場義輝, 徳永隆司, 北森成治, 平田健正*¹, 西川雅高*²: 第2回日本水環境学会シンポジウム, 東京都, 平成11年9月13 - 14日.

* 1 和歌山大学

* 2 国立環境研究所

47 丹沢・大山におけるモミ枯れと大気汚染に関する調査(5) - 渓流水質の測定 -

永淵 修, 柿本大典*¹, 古賀 実*²: 日本化学会第78春季年会, 習志野市, 平成12年3月28 - 31日.

* 1 山口大学(現九州環境管理協会)

* 2 熊本県立大学

48 Fate of pesticides in a shallow reservoir

N. Itagaki *, O. Nagafuchi, K. Takimoto * and M. Okada: The 3rd IWA Specialized Conference on Hazard Assessment and Control of Environmental Contaminants, Otsu Japan, 5-8 December, 1999.

* Hiroshima University

49 Runoff of acidic substances that originated from atmospheric deposition on the Yakushima Island, A world natural heritage site

O. Nagafuchi, H. Kakimoto *¹, S. Ebise *², T. Inoue *³ and M. Koga *⁴: The 4th International Conference on Diffuse Pollution, Bangkok Thailand, 16 - 21 January, 2000.

* 1 Yamaguchi University

* 2 Setsunan University,

* 3 Gifu University

* 4 Prefectural University of Kumamoto

50 ヒ素による地下水汚染の実態とその汚染機構

近藤紘之, 石黒靖尚, 大野健治, 鳥羽峰樹, 福岡県環境生活部環境保全課: 第26回環境保全・公害防止研究発表会, 名古屋市, 平成11年11月17 - 18日.

51 Observation of beryllium-7 in the atmospheric aerosols at two sites of northern Kyushu in Japan

S. Niiya, T. Sakurai, T. Shimohara, O. Oishi, A. Utsunomiya and K. Murano*: First Asia Aerosol Conference, Nagoya, Japan, 平成11年7月27日.

* National Inst. for Environ. Studies

52 Concentration of the atmospheric aerosols at Dazaifu City in autumn

T. Sakurai, S. Niiya and A. Utsunomiya: First Asia Aerosol Conference, Nagoya, Japan, 平成11年7月27日.

53 工場建屋透過音の指向特性について

松本源生, 藤原恭司*, 尾本章*: 日本音響学会1999年秋季研究発表会, 松江市, 平成11年9月30日.

* 九州芸術工科大学音響設計学科

54 連続モニタによる空間放射線量調査

榎崎幸範: 第41回環境放射能調査研究成果発表会, 千葉市, 平成12年3月17日.

55 福岡県における放射能調査

榎崎幸範, 新谷俊二, 木本行雄: 第41回環境放射能調

査研究成果発表会, 千葉市, 平成12年3月17日.

56 The flora and vegetation of Okino-shima and Orono-shima Islands, northern Kyushu, Japan

須田隆一, 笹尾敦子, 清水英幸*: The International Joint Workshop for Studies on Biodiversity, つくば市, 平成11年7月14 - 15日.

* 国立環境研究所地球環境研究センター

57 生態影響試験生物としての水生カメムシ目

緒方 健: 第5回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同研究発表会, 東京都, 平成11年9月11日.

58 プラストロン呼吸を行う水生昆虫に対する界面活性剤の影響

緒方 健: 第5回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同研究発表会, 東京都, 平成11年9月11日

59 ヒメドロムシ科成虫と幼虫での出現傾向の差

緒方 健: 日本陸水学会第64回大会, 彦根市, 平成11年10月11日.

60 福岡県における重要な植物群落

須田隆一, 笹尾敦子: 第2回自然系調査研究機関連絡会議, 富士吉田市, 平成12年2月25日.

61 河川水環境評価の試み

山崎正敏, 杉 泰昭, 緒方 健, 大久保彰人: 第25回九州衛生公害技術協議会, 大分市, 平成11年11月25日.